

令和 8 年度

経年ガス導管入替工事（山辺 1 区）

工 事 設 計 書

大網白里市金谷郷（上之和田）地内

ガス事業課

総括表

ガス事業課				工事番号		2 6 0 5		提出年月日			
年度 科目	令和 8 年度 ガス事業会計		第 4 条		第 1 款		第 1 項		第 4 目		
路線河川名											
工事名		経年ガス導管入替工事（山辺 1 区）									
工事場所		大網白里市金谷郷（上之和田）地内					工事施行方法		請負		
							工事期間	令和 9 年 1 月 2 9 日まで			
請負工事費計			円								
工事価格			円								
消費税相当額			円								

設 計 説 明	工事延長 L=223.2m 路線1 ポリエチレン管50A L=205.2m 路線2 ポリエチレン管50A L=18.0m 供給管 N=7件 舗装本復旧 A=590.0m ²
------------------	---

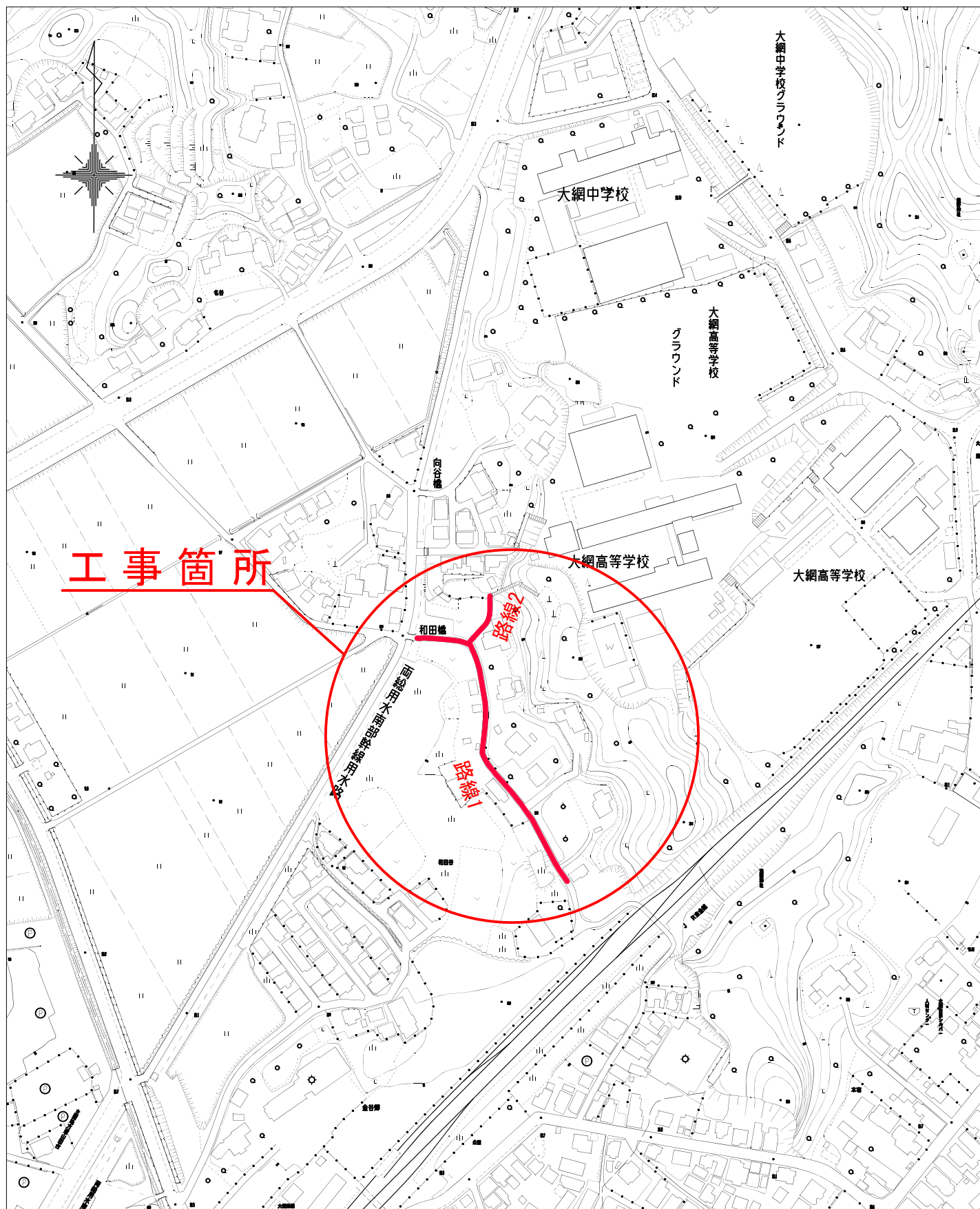
本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
		材料費		式	1			第 1 号内訳書参照
		配管費		式	1			第 2 号内訳書参照
		土工費		式	1			第 3 号内訳書参照
		本復旧費		式	1			第 4 号内訳書参照
		仮設費		式	1			第 5 号内訳書参照
		安全費		式	1			第 6 号内訳書参照
	直接工事費計							
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計						
	純工事費							

本 工 事 内 訳 書

2 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		現場管理費		式	1			
	工事原価							
		一般管理費等		式	1			
		供給管工事費		式	1			第 7 号内訳書参照
	工事価格							
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
工事費計								



位置図

工 事 件 名	経年ガス導管入替工事(山辺1区)		
工 事 場 所	大網白里市金谷郷(上之和田)地内		
図 面 番 号	全 1 葉 のうち 第 1 号		
図 面 種 別	位置図		
縮 尺	図 示		
事 業 主	大網白里市ガス事業課		
設 計 者		年 月 日	

施工条件の明示

工 事 名 経年ガス導管入替工事（山辺 1 区）

工事箇所 大網白里市金谷郷（上之和田）地内

明示項目	明 示 事 項
工 程 関 係	● <u>関係需要家及び近隣住民と十分な調整を行い竣工図書含め工期内に完成させること。</u> ● <u>舗装本復旧を実施し工事完了とする。（自然転圧期間を 30 日間以上設ける）</u>
用 地 関 係	官民境界に注意すること。
公 害 対 策 関 係	排出ガス対策型、低騒音・低振動型の建設機械等を使用する等、公害対策に留意すること。
安 全 対 策 関 係	歩行者・軽車両等が通行する際には、施工機械を止め、安全を確認しながら誘導すること。
工 事 用 道 路 関 係	<u>車両の通行及び建設機械の使用にあたっては十分注意すること。</u> 工事期間中、敷地出入口にかかる場合は事前に住民と十分な調整及び周知を行うこと。 管轄警察署より道路使用許可を取得し施工中は常備のうえ許可条件に基づき施工すること。
仮 設 設 備 関 係	別添、設計書等記載のとおり。
建設副産物関係	別添、特記仕様書記載のとおり。
工 事 支 障 物 件	既設ガス本支管：KZ50A・KZ80A・PE50A・PE100A 既設ガス供給管：KZ25A・PLS25・PE30A 既設水道管：VP75A 等が埋設されているので掘削の際には十分注意すること。
そ の 他	工事の施工にあたっては、「建設工事公衆災害防止対策要綱」に従って行うこと。 掘削部分の埋戻しにあたっては十分に転圧を行うこと。

仕 様 書

- 本工事の施工にあたっては、大網白里市ガス事業課『導管工事仕様書』及び『装置工事基準』を適用するとともに、関連法規、通達、書籍、各種許可条件等を遵守すること。
- 『大網白里市ガス保安規程』を遵守するものとし、工事の一部を下請業者へ請負わせる場合については、当規程を遵守するよう指導すること。
- 掘削箇所の埋戻しについては、工事完了後に地盤沈下が生じないよう十分に転圧すること。
- 工事看板及び交通誘導警備員を適切に配置するとともに、工事車両・工事資材等の置場には十分注意すること。
- 工事を実施したときは、工事完了後に道路及び隣接地への土砂、ゴミ等の飛散を確認し清掃を行うこと。また、現場滞在中は、付近住宅地の駐車場、門扉、フェンス等に工事用品等を立て掛けたり置いたりしてはならない。
- 工事期間中は巡回等により、仮復旧部の窪みや既設アスファルト部との段差等が生じていないか確認を行うこと。
なお、窪みや段差等を確認した場合は速やかに補修を行うこと。
- 舗装本復旧を実施し工事完了とする。（自然転圧期間 30 日間以上設ける）
- 工事にあたって本市の供給するガスにばく露する恐れがある場合においては、本市がホームページで公開している都市ガス 1 2 A の安全データシート（SDS）の内容を確認のうえ保管し、適切な取扱・運用をすること。また、工事の一部を中小受託事業者等に委託する場合、委託先へも同様の取扱いとする。

【安全データシート掲載先】

URL : <https://www.city.oamishirasato.lg.jp/0000015194.html>



経年ガス導管入替工事（山辺 1 区）

大網白里市金谷郷（上之和田）地内

特 記 仕 様 書

特 記 仕 様 書

1. 工 事 名 経年ガス導管入替工事（山辺 1 区）
2. 工 事 場 所 大網白里市金谷郷（上之和田）地内
3. 事 業 年 度 令和 8 年度

第 1 章 総則

（適用）

第 1 条 この特記仕様書は、上記工事に関し、請負者が守らなければならない事項を、特に定めたものである。

本工事の施工にあたっては、本特記仕様書によるほか、設計図書、大網白里市ガス事業課「導管工事仕様書」、「装置工事基準」、一般社団法人日本ガス協会出版の「本支管指針（工事編）」に定めるところによらなければならない。

（工期）

第 2 条 工期は、雨天・休日等を見込み、契約の翌日から令和 9 年 1 月 29 日限りとする。
なお、休日等には、日曜日・祝日の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

第 2 章 現場管理体制

（責任技術者の配置）

第 3 条 本工事においては、大網白里市指定ガス工事店規程に定めるところにより本市に登録された責任技術者を監督者として工事現場に配置し、供給施設の工事の監督をさせなければならない。

ただし、主任技術者（監理技術者）として配置する場合には、大網白里市ガス事業課「ガス本支管工事における現場代理人・主任技術者選定基準」に示す資格要件も同時に満たしていることとする。

（配管工の配置）

第 4 条 本工事においては、大網白里市指定ガス工事店規程に定めるところにより本市に登録された配管工を、工事現場に配置し、供給施設の工事の施工に当るとともに、責任技術者を補助し作業員の監督に当るものとする。

なお、配管工は配管作業時には現場に常駐するものとするが、必ずしも配管工自

らが施工することは要しない。

(内管工事士の配置)

第5条 本工事において、供給管と灯外内管との接続工事を行う場合は、一般社団法人日本ガス協会所定の第1種内管工事士又は第2種内管工事士であって、活管工事の付加資格を有する者を工事現場に配置し、その者が自ら施工するか又は現場に常駐し作業の指示及び確認をさせなければならない。

(本市が指定する技術講習の受講を修了した工事人の配置)

第6条 本工事においては、房総ガス協議会が開催するガス工事技術講習制度による「本支管コース」の受講を修了した工事人を工事現場に配置し、供給施設の工事の施工に当るものとする。

~~(列車見張員等の配置)~~

~~第7条 本工事においては、JR〇〇線の鉄道近接工事を含むことから、東日本旅客鉄道(株)が指定する資格認定証を有する列車見張員等を適正に配置し、事故防止に万全を期さなければならない。~~

第3章 建設副産物対策

(共通事項)

第8条 「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。

また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。

◎作成対象工事

「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。

- 2 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書(様式1)」を作成し、監督員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。
- 3 建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督員に提示すると

ともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。

- 4 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書(様式2)」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料(受入伝票、写真等)を監督員に提出し確認を受けること。

- 5 建設廃棄物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のD票及びE票の写しを提出すること。

また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの(受渡確認票等)を提出すること。

(建設廃棄物等)

第9条 建設発生土

①指定処分A(工事間流用)の場合

~~本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、工事間流用を図るものとし、下記指定地に搬出すること。~~

~~ア 搬出先(相手先工事名、場所等) _____ 工事 _____ 市 _____ 地先~~

~~イ 土質及び処分量 _____ 第 _____ 種建設発生土 _____ m³~~

~~ウ 搬出期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日~~

②指定処分A

~~発生土(_____ m³)は、片道運搬距離 _____ kmの建設発生土受入施設(_____ 番地)に運搬し、処理するものとする。~~

③指定処分B

建設発生土は、片道運搬距離約27.8km以内に搬出するものとし、処分方法については監督員と協議するものとする。

第10条 アスファルト・コンクリート塊及び路盤廃材(指定処分A)

本工事により発生するアスファルト・コンクリート塊及び路盤廃材は、千葉県東金市小野字大原496-2他地内、片道運搬距離約8.9kmの有限会社地引組中間処理業者に運搬し、処理するものとする。

また、運搬に先立ち、受入れ条件等を確認し、監督員に報告しなければならない。

なお、工事発注後、事情により上記の指定処分先により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

(建設工事に係る資材の再資源化等)

第11条 特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置

- (1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)。以下「建設リサイクル法」という。)に基づく対象建設工事であり、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

(2) 請負者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条の規定に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、その書面は「建設副産物情報交換システム (COBRIS)」を用いて作成した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書によることができる。

2 請け負おうとする建設業を営む者からの事前説明に関する事項

- (1) 建設リサイクル法第12条の規定により、対象建設工事を請け負おうとする建設業を営む者は、発注者に対し、『「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)の施行に伴う公共工事の取扱い』で定める「法第12条第1項に基づく書面」を交付し説明を行うこととする。
- (2) 書面の交付は、契約に先立って行うこととする。

第4章 監視機器・測定機器

(趣旨)

第12条 本工事を履行するにあたり使用する監視機器・測定機器の取扱いについては、本仕様書の定めるところによる。

(定義)

第13条 本仕様書において「監視機器」とは、本工事に係る成果品を適正な状態で納入するために、成果品が完成するまでの各過程を監視することを目的に設置する機械をいう。

(例：ビデオカメラ、録音装置等)

2 本仕様書において「測定機器」とは、本工事を履行するにあたり必要な各種測定を行うために用いる機器をいう。

(例：各種測量機器、騒音測定器等)

(監視機器・測定機器の管理)

第14条 請負者は、自らが保有する監視機器・測定機器を適正に管理しなければならない。

(測定機器の管理の特例)

第15条 前条に規定するもののほか、請負者は、測定値の正当性を確保する必要がある場合は、次の各号に掲げる方法により測定機器を管理しなければならない。

- (1) 測定機器は、定期的又は使用前に、国際又は国家計量標準に照らして校正又は検証すること。校正又は検証の結果は記録として維持しておくこと。

なお、国際又は国家計量標準が存在しない場合は、校正又は検証に用いた基準を記録しておくこと。

- (2) 測定機器を調整しておくこと。また、必要に応じて再調整すること。
- (3) 未校正の測定機器を使用することのないよう、校正を終えた測定機器は識別しておくこと。
- (4) 測定結果を無効にするような操作ができないようにすること。
- (5) 測定機器が損傷したり劣化したりしないように、適正に保管すること。
- (6) 測定値に誤りが発見された場合は、直ちに是正処置を行うとともに、それまでの測定結果の有効性の再評価を行わなければならない。

(届出)

第16条 請負者は、本契約に基づき監視機器・測定機器を使用する場合は、契約期間内に、監視機器・測定機器報告書(別記第4号様式)にその内訳を記載し、発注者に届け出なければならない。

(準用)

第17条 第14条及び第15条の規定は、本工事の下請負契約を締結した場合の下請負人について準用する。この場合において、請負者は、下請負人が同条の規定を遵守するよう監督しなければならない。

第5章 公衆災害対策・安全対策

(公衆災害)

第18条 工事の施工にあたっては、「建設工事公衆災害防止対策要綱」に従って行わなければならない。

(特定建設作業)

第19条 本工事の施工にあたり、請負者は騒音規制法及び振動規制法並びに大網白里市環境保全条例を遵守し、必要に応じ特定建設作業実施届を当該作業開始の7日前までに提出するものとする。〔対象範囲：騒音規制法・振動規制法は用途地域の全域。大網白里市環境保全条例は上記以外の区域で次に掲げる施設の敷地の周囲おおむね80mの区域内とする。(学校、保育所、病院、入院施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホーム)〕

(工事関係者連絡会議)

第20条 発注者が指示するときは、請負者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全かつ円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置するものとする。

(安全・訓練等の実施)

第21条 本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後原則として作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し、安全・訓練等を実施するものとする。

- ・安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- ・本工事内容等の周知徹底
- ・土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- ・本工事における災害対策訓練
- ・本工事現場で予想される事故対策
- ・その他、安全・訓練等として必要な事項

(交通誘導警備員)

第22条 市道部を車両通行止めで施工する場合は交通誘導警備員を2人以上配置するものとする。

第6章 その他

(苦情等の対応)

第23条 工事沿道住民より苦情又は意見等があった場合は、丁寧に対応し直ちに監督員に報告するとともに適切に措置をとらなければならない。

様式1・イ 再生資源利用計画書 ー建設資材搬入工事用ー -「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版-

1. 工事概要

発注機関名

発注機関コード*1

担当者

TEL

免注担当者チェック欄

法人番号

請負会社名

建設業許可 または
解体工事業者登録

大臣
知事

号

請負会社コード*2

会社所在地

TEL
FAX

記入年月日

年 月 日

工事責任者

調査票記入者

工 事 名

工事種別コード*3

請負金額

千 百 十
億 億 億 万 万 万 万
1万円未満四捨五入
万円 (税込み)

左記金額のうち特定建設資材廃棄物の
再資源化等に要した費用
千 百 十
億 万 万 万 万 1万円未満四捨五入
万円 (税込み)

再資源化等が完了した年月日

年 月 日

工事施工場所

都 道 市 区
府 県 町 村

住所コード*4

工 期

年 月 日から
年 月 日まで

工事概要等

施工条件の内容
(再生資源の利用に関する特記
事項等)

建築・解体工事のみ
右欄に記入して下さい

建 築 面 積

延 床 面 積

構 造
(数字に○をつける)

使 途
(数字に○をつける)

1.鉄骨鉄筋コンクリート造
4.コンクリートブロック造
1.居住専用
4.店舗
2.鉄筋コンクリート造
5.木造
2.居住産業併用
5.工場・作業所
3.鉄骨造
6.その他
3.事務所
6.倉庫
9.その他

地上 階
地下 階

階 数

百 十
万 万 千 百 十
m2
m2

※解体工事については、建築面積を御記入いただかなくても結構です。

2. 建設資材利用計画

建 設 資 材 (新材を含む全体の利用状況)				左記のうち、再生資材の利用状況				(再生資材を利用した場合に記入してください)				再生資源
分 類	小分類 コード*5	規 格	主な利用用途 コード*6	利 用 量 (A) 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量 (B) 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*8	施工条件 内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所	住所コード *4	利用率 B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン		トン						%
	合 計			トン		トン						%
	コンクリート 及び数から成 る建設資材			トン		トン						%
	合 計			トン		トン						%
	木 材			トン		トン						%
その他の建設資材	アスファルト ・コーク			トン		トン						%
	合 計			トン		トン						%
	土 砂			締めm3		締めm3						%
	合 計			締めm3		締めm3						%
	砕 石			m3		m3						%
その他の建設資材	塩化ビニル管 ・継手			トン		トン						%
	合 計			トン		トン						%
	石膏ボード			トン		トン						%
	合 計			トン		トン						%
	その他の 建設資材			トン		トン						%
その他の建設資材	合 計			トン		トン						%
	合 計			トン		トン						%
	合 計			トン		トン						%
	合 計			トン		トン						%
	合 計			トン		トン						%

コード*5

コンクリートについて
1.生コン (バーゲン骨材)
2.再生生コン (C○再生骨材M)
3.再生生コン (C○再生骨材L)
4.再生生コン (C○再生骨材H)
5.再生生コン (C○再生骨材)
6.無筋コンクリート二次製品 (バーゲン骨材)
7.無筋コンクリート二次製品 (リノス品)
8.再生無筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材)
9.再生無筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材)
10.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品 (バーゲン骨材)
2.有筋コンクリート二次製品 (リノス品)
3.再生有筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材)
4.再生有筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材)
5.その他
木材について
1.木材 (ボード類を除く)
2.木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.粗粒度アスコン
2.密粒度アスコン
3.細粒度アスコン
4.開粒度アスコン
5.改質アスコン
6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材
8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
6.浚渫土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂
10.山砂、山土などの新材 (採取土、購入土)
砕石について
1.クラッシャーラン
2.粒度調整砕石
3.鉱さい
4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石
6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管
2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード
2.シーリング石膏ボード
3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード
5.石膏ラスボード
6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

コード*6

アスファルト・コンクリートについて
1.表層
2.基層
3.上層路盤
4.歩道
5.その他 (駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体
2.路床
3.河川築堤
4.構造物等の表込材、埋戻し用
5.宅地造成用
6.水面埋立用
7.は場整備 (農地整備)
8.その他
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の表込材、基礎材
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.水道 (配水) 用
2.下水道用
3.ケプ 用
4.土質改良土
5.設備用
6.その他
石膏ボードについて
1.壁
2.天井
3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

コード*7

コンクリートについて
1.再生生コン (C○再生骨材H)
2.再生生コン (C○再生骨材M)
3.再生生コン (C○再生骨材L)
4.再生生コン (C○再生骨材)
5.再生生コン (C○再生骨材)
6.無筋コンクリート二次製品 (リノス品)
7.無筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材)
8.再生無筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材)
9.再生無筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材)
10.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品 (リノス品)
2.有筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材)
3.再生有筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材)
4.その他
木材について
1.再生木材 (ボード類を除く)
2.再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.再生粗粒度アスコン
2.再生密粒度アスコン
3.再生開粒度アスコン
4.再生改質アスコン
5.再生改質アスコン
6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
6.浚渫土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂
10.山砂、山土などの新材 (採取土、購入土)
砕石について
1.再生クラッシャーラン
2.再生粒度調整砕石
3.鉱さい
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管
2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード
2.シーリング石膏ボード
3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード
5.石膏ラスボード
6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

コード*8

再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場 (内陸)
3.他の工事現場 (海面)
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*9

施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

様式2・ロ 再生資源利用促進計画書 ー建設副産物搬出工事用ー

1. 工事概要 表面（様式1）に必ずご記入下さい

2. 建設副産物搬出計画

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ (%)			
		現場内利用		減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。		区分 どちらかに○を付けて下さい	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード *4	連絡距離 千/百/十/一	搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量				⑤再生資源利用促進量 小数点第三位まで	
		用途 コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③うち現場内改良分 小数点第三位まで	減量化 コード*11									③減量化量 小数点第三位まで	④現場外搬出量 小数点第三位まで				⑤うち現場内改良分 小数点第三位まで
資材廃棄物 特定建設副産物	コンクリート塊	トン		トン	トン			搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	建設発生木材A (注、ボードなどと同様の材質が異なる場合があるもの)	トン		トン	トン			搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン		トン	トン			搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	その他がれき類	トン						搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
建設廃棄物	建設発生木材B (注、鋼筋等が混入しているもの)	トン		トン	トン			搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	建設汚泥	トン		トン	トン	トン		搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	金属くず	トン						搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	トン						搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	廃プラスチック(廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン						搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	廃石膏ボード	トン						搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	紙くず	トン						搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	7*6 (両面性)	トン						搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン						搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	混合状態の廃棄物 (紙くずを含む)	トン						搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		トン トン	トン トン	トン	%	
	建設発生土	第一種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%
		第二種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%
第三種 建設発生土		地山m ³		地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%	
第四種 建設発生土		地山m ³		地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%	
液状土以外の泥土		地山m ³		地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%	
液状土 (掘削汚泥を除く)		地山m ³		地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 公共 民間 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%	
合計		地山m ³		地山m ³	地山m ³									地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		

コード*10

1. 路盤材
2. 裏込材
3. 埋戻し材
4. その他

コード*11

1. 焼却
2. 脱水
3. 天日乾燥
4. その他

コード*12

施工条件について

1. A 指定処分
(発注時に指定されたもの)
2. B 指定処分 (もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3. 自由処分

コード*13

【建設廃棄物の場合】
1. 売却
2. 他の工事現場
3. 広域処理施設 (アスファルト合材プラント)
4. 中間処理施設 (合材プラント以外の再資源化施設)
5. 中間処理施設 (サーマルリサイクル)
6. 中間処理施設 (単焼廃却)
7. 廃棄物最終処分場 (海面処分場)
8. 廃棄物最終処分場 (内陸処分場)
9. 廃棄物最終処分場 (内陸処分場)

【建設発生土の場合】
1. 売却
2. 他の工事現場 (内陸)
3. 他の工事現場 (海面)
4. 中間処理施設 (合材プラント以外の再資源化施設)
5. 工事予定地・仮置場・スリット
(再利用の目的がある場合)
6. 工事予定地・仮置場・スリット
(再利用の目的がない場合)
7. 採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8. 廃棄物最終処分場 (覆土としての受入)
9. 廃棄物最終処分場 (覆土以外の受入)
10. 土捨て場・残土処分場

※ 6. 9. 10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

注記) ・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

様式1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー -「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」、「H30建設副産物実態調査」対応版-

1. 工事概要

発注機関名		発注機関コード*1		発注担当者チェック欄		法人番号		請負会社名		請負会社コード*2		記入年月日		年 月 日	
				担当者		TEL		建設業許可 または 解体工事業者登録		大臣 知事		号		工事責任者	
				TEL				会社所在地		TEL FAX				調査票記入者	

工 事 名		工事種別コード*3		請負金額		千 百 十 千 百 十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 万円 (税込み)		左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用		千 百 十 千 百 十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 万円 (税込み)		再資源化等が完了した年月日		年 月 日	
工事施工場所		都 道 市 区 府 県 町 村		住所コード*4		工 期		年 月 日から 年 月 日まで							
工事概要等		施工条件の内容 (再生資源の利用に関する特記事項等)													

建 築 面 積		百 十 万 万 千 百 十 一 m2		階 数		地 上 階	
延 床 面 積		m2				地 下 階	
構 造 (数字に○をつける)		1.鉄骨鉄筋コンクリート造 2.鉄筋コンクリート造 3.鉄骨造 4.コンクリートブロック造 5.木造 6.その他					
使 途 (数字に○をつける)		1.居住専用 2.居住産業併用 3.事務所 4.店舗 5.工場、作業所 6.倉庫 7.学校 8.病院診療所 9.その他					

※解体工事については、建築面積を御記入いただかなくても結構です。

2. 建設資材利用実施

建 設 資 材（新材を含む全体の利用状況）					左記のうち、再生資材の利用状況							再生資源	
					(再生資材を利用した場合に記入してください)								
分 類	小分類 コード*5	規 格	主な利用用途 コード*6	利 用 量 (A) 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量 (B) 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*8	施工条件 内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所	住所コード *4	利用率 B/A×100	
特定建設資材	コンクリート			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
	合 計			トン		トン						%	
	コンクリート 及び鉄から成 る建設資材			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
	合 計			トン		トン						%	
	木 材			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
	合 計			トン		トン						%	
	アスファルト ・コーク			トン		トン						%	
			トン		トン						%		
合 計			トン		トン						%		
その他の建設資材	土 砂			締めm3		締めm3						%	
				締めm3		締めm3						%	
	合 計			締めm3		締めm3						%	
	砕 石			m3		m3						%	
				m3		m3						%	
	合 計			m3		m3						%	
	塩化ビニル管 ・継手			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
	合 計			トン		トン						%	
	石膏ボード			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
	合 計			トン		トン						%	
	その他の 建設資材			トン		トン						%	
			トン		トン						%		
合 計			トン		トン						%		

コード*5 コンクリートについて 1.生コン (パージン骨材) 2.再生生コン (C○再生骨材M) 3.再生生コン (C○再生骨材L) 4.再生生コン (C○再生骨材H) 5.再生生コン (C○再生骨材) 6.無筋コンクリート二次製品 (パージン骨材) 7.無筋コンクリート二次製品 (リノス品) 8.再生無筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材) 9.再生無筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材) 10.その他 コンクリート及び鉄から成る建設資材について 1.有筋コンクリート二次製品 (リノス品) 2.再生有筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材) 3.再生有筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材) 木材について 1.木材 (ボード類を除く) 2.木質ボード アスファルト・コンクリートについて 1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン 3.細粒度アスコン 4.開粒度アスコン 5.改質アスコン 6.アスファルトモルタル 7.加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他 土砂について 1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂 10.山砂、山土などの新材 (採取土、購入土) 砕石について 1.クラッシャーラン 2.粒度調整砕石 3.鉱さい 4.単粒度砕石 5.ぐり石、割ぐり石、自然石 6.その他 塩化ビニル管・継手について 1.硬質塩化ビニル管 2.その他 石膏ボードについて 1.石膏ボード 2.シーリング石膏ボード 3.強化石膏ボード 4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他 その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)	コード*6 アスファルト・コンクリートについて 1.表層 2.基層 3.上層路盤 4.歩道 5.その他 (駐車場舗装、敷地内舗装等) 土砂について 1.道路路体 2.路床 3.河川築堤 4.構造物等の表込材、埋戻し用 5.宅地造成用 6.水面埋立用 7.は場整備 (農地整備) 8.その他 砕石について 1.舗装の下層路盤材 2.舗装の上層路盤材 3.構造物の表込材、基礎材 4.その他 塩化ビニル管・継手について 1.水道 (配水) 用 2.下水道用 3.ケプ 用 4.土質改良土 5.設備用 6.その他 石膏ボードについて 1.壁 2.天井 3.その他 その他の建設資材について (利用用途を具体的に記入して下さい)	コード*7 コンクリートについて 1.再生生コン (C○再生骨材H) 2.再生生コン (C○再生骨材M) 3.再生生コン (C○再生骨材L) 4.再生生コン (C○再生骨材) 5.無筋コンクリート二次製品 (リノス品) 6.再生無筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材) 7.再生無筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材) 8.再生無筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材) 9.再生無筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材) 10.その他 コンクリート及び鉄から成る建設資材について 1.有筋コンクリート二次製品 (リノス品) 2.再生有筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材) 3.再生有筋コンクリート二次製品 (C○再生骨材) 4.その他 木材について 1.再生木材 (ボード類を除く) 2.再生木質ボード アスファルト・コンクリートについて 1.再生粗粒度アスコン 2.再生密粒度アスコン 3.再生開粒度アスコン 4.再生改質アスコン 5.再生改質アスコン 6.再生アスファルトモルタル 7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他 土砂について 1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂 10.山砂、山土などの新材 (採取土、購入土) 砕石について 1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整砕石 3.鉱さい 4.その他 塩化ビニル管・継手について 1.再生硬質塩化ビニル管 2.その他 石膏ボードについて 1.石膏ボード 2.シーリング石膏ボード 3.強化石膏ボード 4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他 その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)	コード*8 再生資材の供給元について 1.現場内利用 2.他の工事現場 (内陸) 3.他の工事現場 (海面) 4.再資源化施設 5.土砂ストックヤード 6.その他	コード*9 施工条件について 1.再生材の利用の指示あり 2.再生材の利用の指示なし
---	---	--	--	---

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

1. 工事概要 表面（様式1）に必ずご記入下さい

2. 建設副産物搬出実施

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ (%)	
		現場内利用		減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに○を付けて下さい	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード *4	連絡距離 千/百/十/一	搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量 小数点第三位まで		
		用途 コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③減量化 コード*11 小数点第三位まで	③減量化量 小数点第三位まで								トン	うち現場内改良分 小数点第三位まで			
資材・特定廃棄物	コンクリート塊		トン	トン		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン	トン	トン	トン	%
	建設発生木材A (注:ボードなど木質部材が製材されたもの)		トン	トン		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	トン	%
	アスファルト・コンクリート塊		トン	トン		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	トン	%
	その他がれき類		トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	トン	%
	建設発生木材B (注:鋼骨鉄筋が製材されたもの)		トン	トン		搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	トン	%
	建設汚泥		トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	トン	%
	金属くず		トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	トン	%
	廃塩化ビニル管・継手		トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	トン	%
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)		トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	トン	%
	廃石膏ボード		トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	トン	%
	紙くず		トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	トン	%
	不燃物 (可燃性)		トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	トン	%
建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第二種建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第三種建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第四種建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	液状土以外の泥土	地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	液状土 (掘削汚泥を除く)	地山m ³		地山m ³	地山m ³	搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	合計	地山m ³		地山m ³	地山m ³								地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%

注記) ・一般廃棄物は記入しないで下さい。 ・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。	コード*10 1. 路盤材 2. 裏込材 3. 埋戻し材 4. その他	コード*11 1. 砕却 2. 脱水 3. 天日乾燥 4. その他	コード*12 施工条件について 1. A 指定処分 (発注時に指定されたもの) 2. B 指定処分 (もしくは準指定処分) (発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの) 3. 自由処分	コード*13 【建設廃棄物の場合】 1. 売却 2. 他の工事現場 3. 広域処理施設 (アスファルト合材プラント) 4. 中間処理施設 (合材プラント以外の再資源化施設) 5. 中間処理施設 (サーマルリサイクル) 6. 中間処理施設 (単焼廃却) 7. 廃棄物最終処分場 (海面処分場) 8. 廃棄物最終処分場 (内陸処分場) 9. 廃棄物最終処分場 (内陸処分場)	【建設発生土の場合】 1. 売却 2. 他の工事現場 (内陸) 3. 他の工事現場 (海面) 4. 中間処理施設 (ただし、廃棄物最終処分場を除く) 5. 土質改良プラント 6. 工事予定地・仮置場・スロットド (再利用の目的がある場合) 7. 探石場・砂利採取跡地等復旧事業 8. 廃棄物最終処分場 (覆土としての受入) 9. 廃棄物最終処分場 (覆土以外の受入) 10. 土捨て場・残土処分場

※ 6. 9. 10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式－1

建設副産物処理承認申請書

年 月 日

工事名
工事場所

工期
処理期間

年 月 日～ 年 月 日
年 月 日～ 年 月 日

受注者名
現場代理人名

住 所
電話番号

建設副産物	建設発生土(m ³)	路盤廃材(m ³)	アスファルト・コンクリート塊(トン)	コンクリート塊(トン)	建設汚泥(トン)	
処理場所						
所在地 電話番号						
地目		—	—	—		
面積＊高さ	m ² ＊ m	—	—	—		
処理業の許可番号	—					
許可期限	—					
農地転用等 許可番号		—	—	—		
処理数量						
処理費用(円)						
運搬距離(km)						
運搬業者 下請業者名 同電話番号 収集運搬許可番号	元請 下請	元請 下請	元請 下請	元請 下請	元請 下請	

- (注)
1. 処理される建設副産物に応じて適宜、記入欄を追加すること。
 2. 工事現場と処理地の関係がわかる図面を添付のこと。(A4)
 3. 「建設廃棄物処理委託契約書」の写しを添付すること。
 4. 処理費とは、運搬費を含まない単位あたり処理費とする。
 5. この申請書は1部提出すること。

様式－2

建設副産物処理調書

年 月 日

工事名
工事場所

工期
処理期間

年 月 日～ 年 月 日
年 月 日～ 年 月 日

受注者名
現場代理人名

住 所
電話番号

建設副産物	建設発生土 (m3)		路盤廃材 (m3)		アスファルト・コンクリート塊 (トン)		コンクリート塊 (トン)		建設汚泥 (トン)			
処理場所												
運搬距離	km		km		km		km		km		km	
年 月	数量	累計	数量	累計	数量	累計	数量	累計	数量	累計	数量	累計
合計												

(注) 1. 処理された建設副産物に応じて適宜、記入欄を追加すること。
2. この調書は1部提出すること。

(12 条関係様式)

法第 12 条第 1 項に基づく書面

令和 年 月 日

(発注者)

様

(郵便番号 —)

住 所

氏 名

電話番号

—

—

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第 12 条第 1 項の規定により、対象建設工事の届出に係る事項について、次のとおり説明します。

1. 工事の名称

2. 工事の場所

3. 説明内容 添付資料のとおり

4. 添付資料

①別表（別表 1～3 のいずれかに必要事項を記載したもの）

☐別表 1（建築物に係る解体工事）

☐別表 2（建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替））

☐別表 3（建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等））

②工程の概要を示す資料

☐工程表

別表3

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造(解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()					
工事の種類		☐ 新築工事 ☐ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☐ その他()					
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☐ コンクリート ☐ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☐ アスファルト・コンクリート ☐ 木材					
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 年 その他()					
	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 m その他()					
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容			工作物に関する調査の結果				工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所		作業場所 ☐ 十分 ☐ 不十分 その他()				
	搬出経路		障害物 ☐ 有() ☐ 無 前面道路の幅員 約 m 通学路 ☐ 有 ☐ 無 その他()				
	特定建設資材への付着物 (解体・維持・修繕工事のみ)		☐ 有() ☐ 無				
	他法令 関係(解体・維持・修繕工事のみ)	石綿 (大気汚染防止法・安全衛生法石綿則)	☐ 有 ☐ 無	特定建設資材への付着	☐ 有	☐ 飛散性石綿(吹付け石綿、石綿含有吹付けロックウール等) ☐ 非飛散性石綿(石綿含有ビニール床タイル等)	☐ 飛散性石綿に関する諸官庁届出(大防法、労安衛法・石綿予防規則) ☐ 飛散性石綿の適正処理の実施 ☐ 非飛散性石綿の適正処理の実施
					☐ 無	☐ 飛散性石綿【吹付け】(鉄骨等の特定建設資材以外のものに吹付けられた石綿) ☐ 飛散性石綿【吹付けではない】(石綿を含有する断熱材、保温材、耐火被覆材等) ☐ 非飛散性石綿(石綿含有スレート板等)	☐ 飛散性石綿に関する諸官庁届出(大防法、労安衛法・石綿予防規則) ☐ 飛散性石綿の適正処理の実施 ☐ 非飛散性石綿の適正処理の実施
	その他		☐ 有() ☐ 無				
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程		作業内容				分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設		仮設工事 ☐ 有 ☐ 無				☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工		土工工事 ☐ 有 ☐ 無				☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎		基礎工事 ☐ 有 ☐ 無				☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造		本体構造の工事 ☐ 有 ☐ 無				☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品		本体付属品の工事 ☐ 有 ☐ 無				☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他()		その他の工事 ☐ 有 ☐ 無				☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()					
工作物に用いられた建設資材の量の見込み (解体工事のみ)		トン					
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)		種類	量の見込み		使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)	
			☐ コンクリート塊	トン		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	
			☐ アスファルト・コンクリート塊	トン		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	
			☐ 建設発生木材	トン		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	
			(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他				
備考	建設発生木材 ☐ 無 ☐ 有(契約書の写し等) ☐ 有 ☐ 無						

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

(18 条関係様式)

再 資 源 化 等 報 告 書

令和 年 月 日

(発注者)

様

氏 名
(郵便番号 —)
住 所
電話番号 — —

※(「氏名」は、法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名)

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第 18 条 1 項の規定により、下記のとおり、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したことを報告します。

記

1. 工事の名称 _____
2. 工事の場所 _____
3. 再資源化等が完了した年月日 令和 年 月 日
4. 再資源化等をした施設の名称及び所在地
(書ききれない場合は別紙に記載)

特定建設資材廃棄物の種類	施 設 の 名 称	所 在 地

5. 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用 _____ 万円 (税込み)

(参考資料を添付する場合の添付資料)

- ☐ 再生資源利用実施書 (必要事項を記載したもの) 様式 1
- ☐ 再生資源利用促進実施書 (必要事項を記載したもの) 様式 2

第4号様式

監視機器・測定機器報告書

1 件 名：

2 場所:

請負者名

印

3 履行期間：

4 監視機器・測定機器の内訳

[illegible]

数量計算書

- ・ 材 料 数 量 調 書
- ・ 配 管 数 量 調 書
- ・ 土 工 数 量 調 書
- ・ 本 復 旧 数 量 調 書
- ・ 仮 設 数 量 調 書
- ・ 安 全 費 数 量 調 書
- ・ 供 給 管 数 量 調 書

材料数量調書

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

$$(1/1)$$
[illegible]

配管数量調書

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

$$(1/1)$$
[illegible]

土 工 数 量 調 書

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

$$\underline{(1/1)}$$
[illegible]

本 復 旧 数 量 調 書

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

$$(1/1)$$
[illegible]

仮 設 数 量 調 書

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺 1 区）

$$(1/1)$$
[illegible]

安全費数量調書

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

 $(1/1)$ [illegible]

供 給 管 数 量 調 書

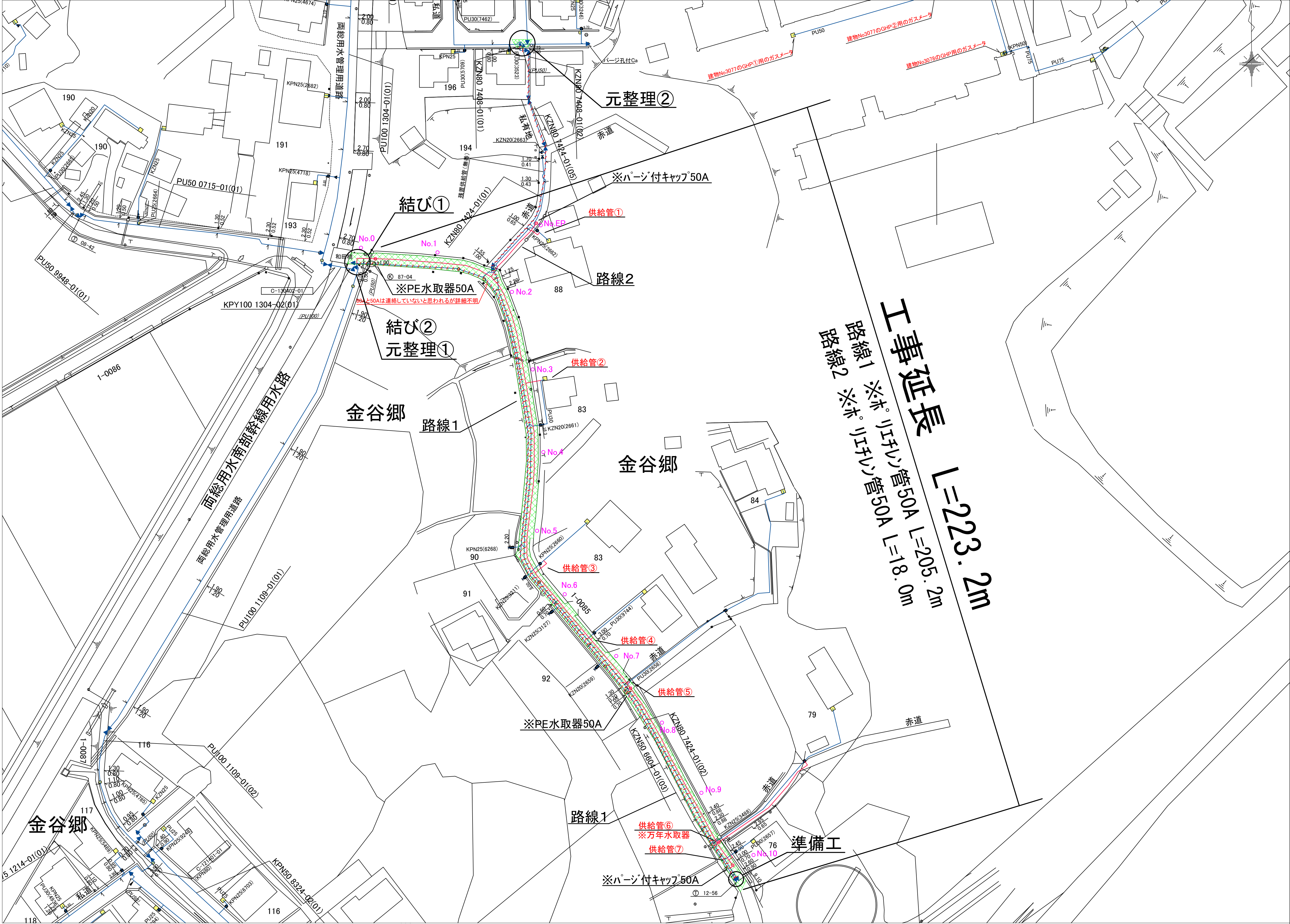
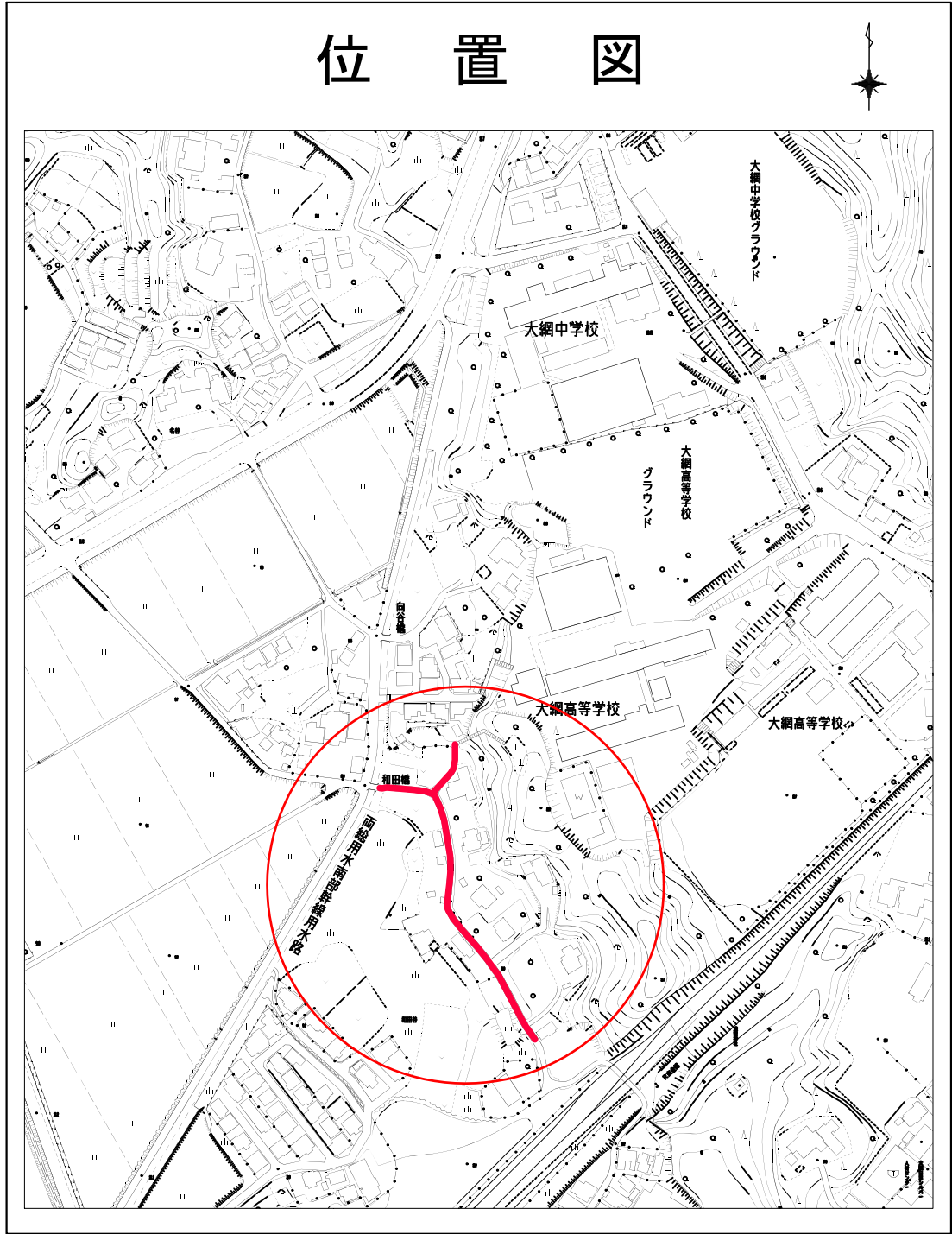
工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺 1 区）

$$\underline{(1/1)}$$
[illegible]

設計説明書

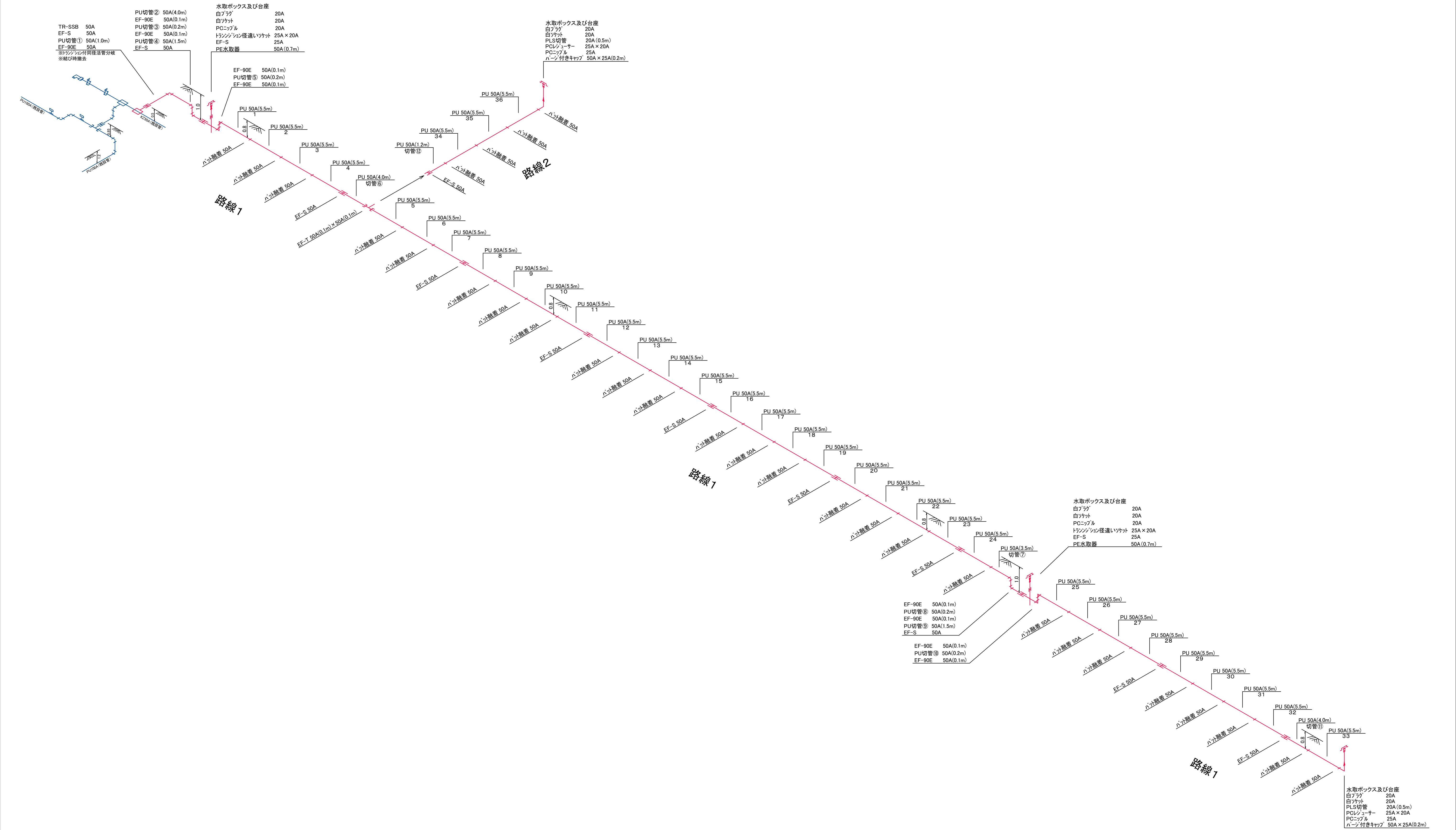
工事番号	2605	工種	入替
管路番号	圧力工種管種口径延長備考		
路線1	LP入替PU50A	205.2m	パージ付キャップ50A 1基 PE水取器50A 2基
路線2	LP入替PU50A	18.0m	パージ付キャップ50A 1基
合計			
導管図番号	09-04		



2605

工 事 件 名	経年ガス導管入替工事(山辺1区)
工 事 場 所	大網白里市金谷郷(上之和田)地内
図 面 番 号	全 4 葉 のうち 第 1 号
図 面 種 別	位置図・平面図
縮 尺	図 示
事 業 主	大網白里市ガス事業課
設 計 者	年月日

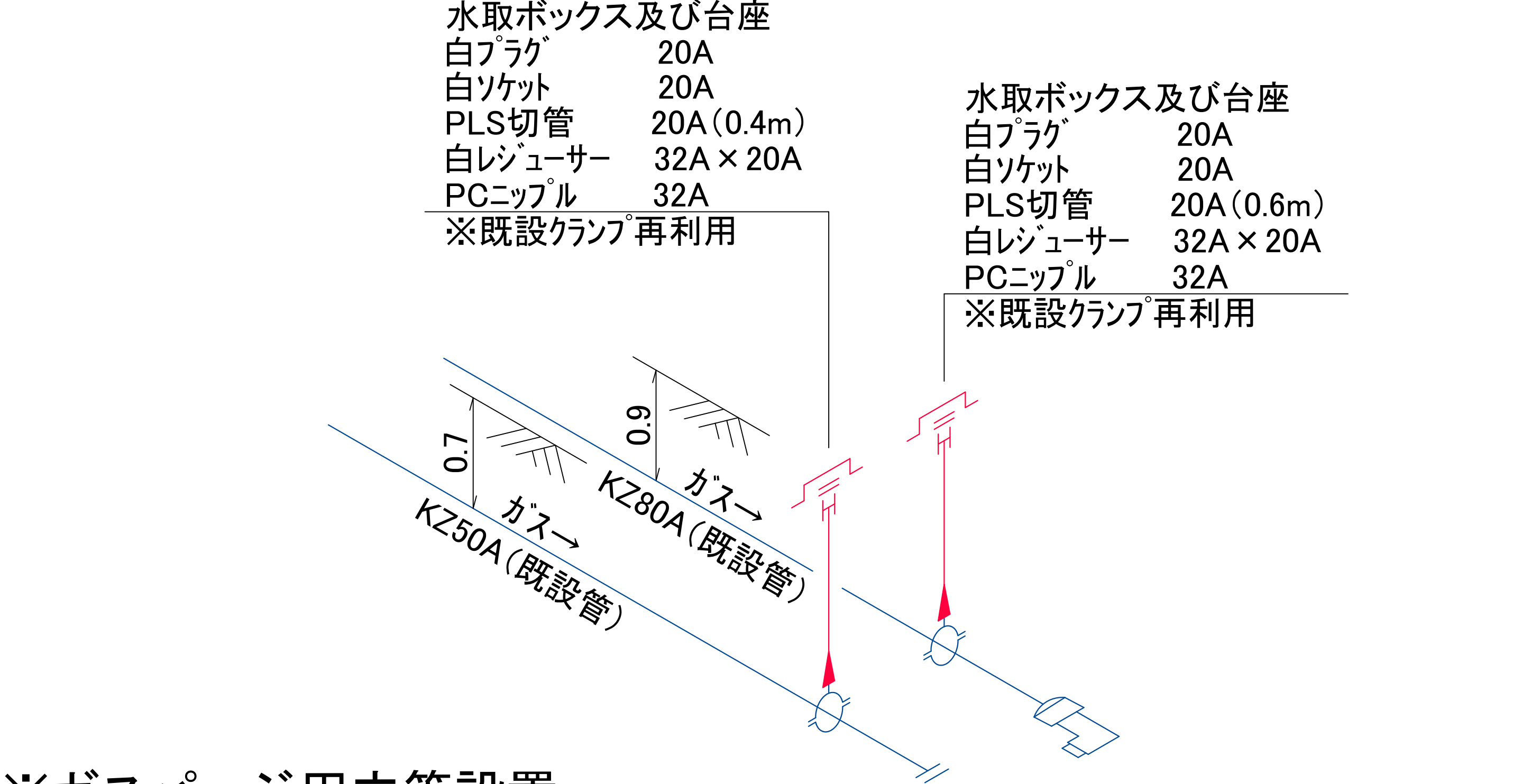
配管詳細図 S=free



2605

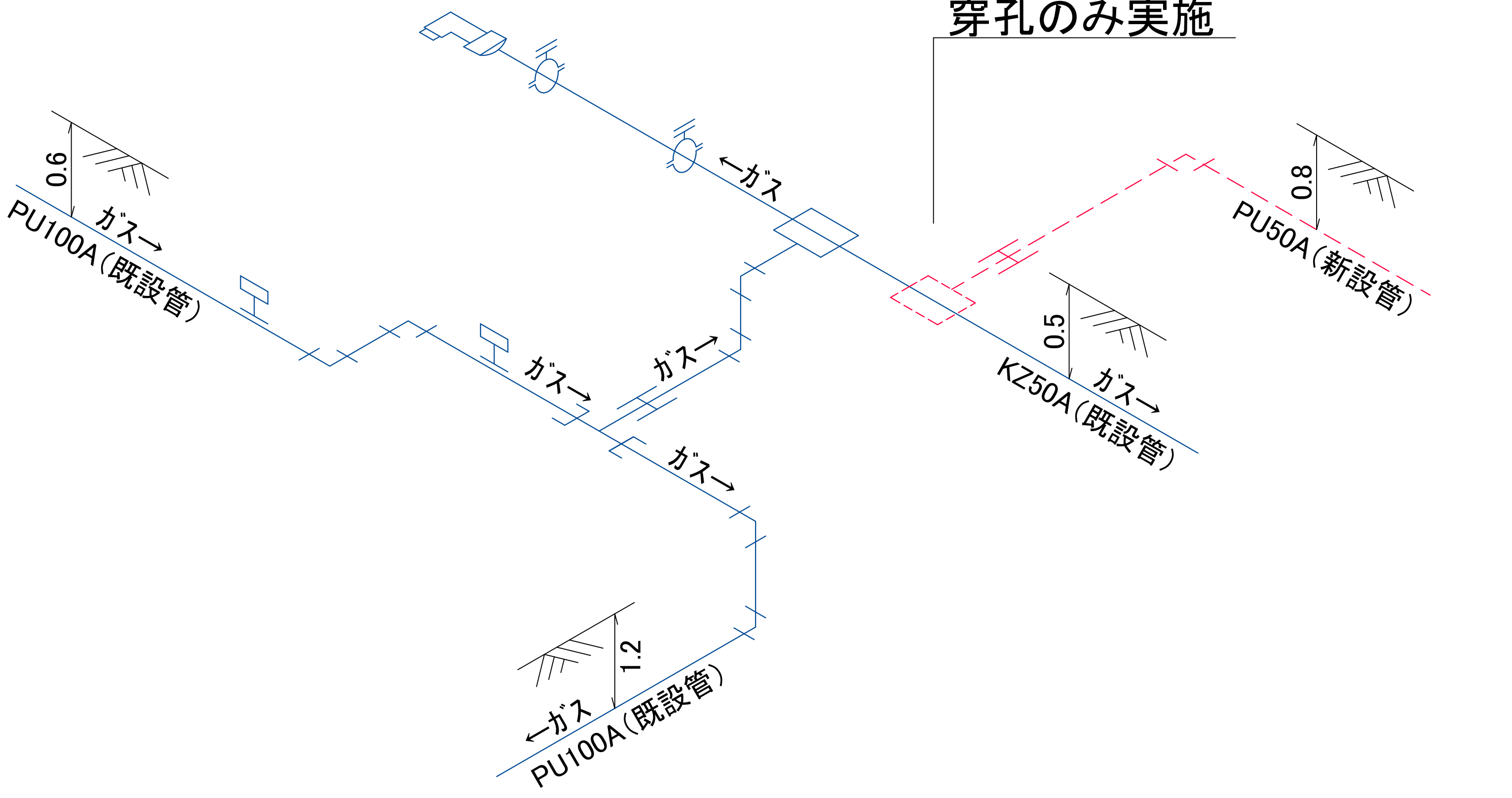
工 事 件 名	経年ガス導管入替工事(山辺1区)		
工 事 場 所	大網白里市金谷郷(上之和田)地内		
図 面 番 号	全 4 葉 のうち 第 2 号		
図 面 種 別	配管詳細図		
縮 尺	図 示		
事 業 主	大網白里市ガス事業課		
設 計 者		年 月 日	

準備工(路線1)

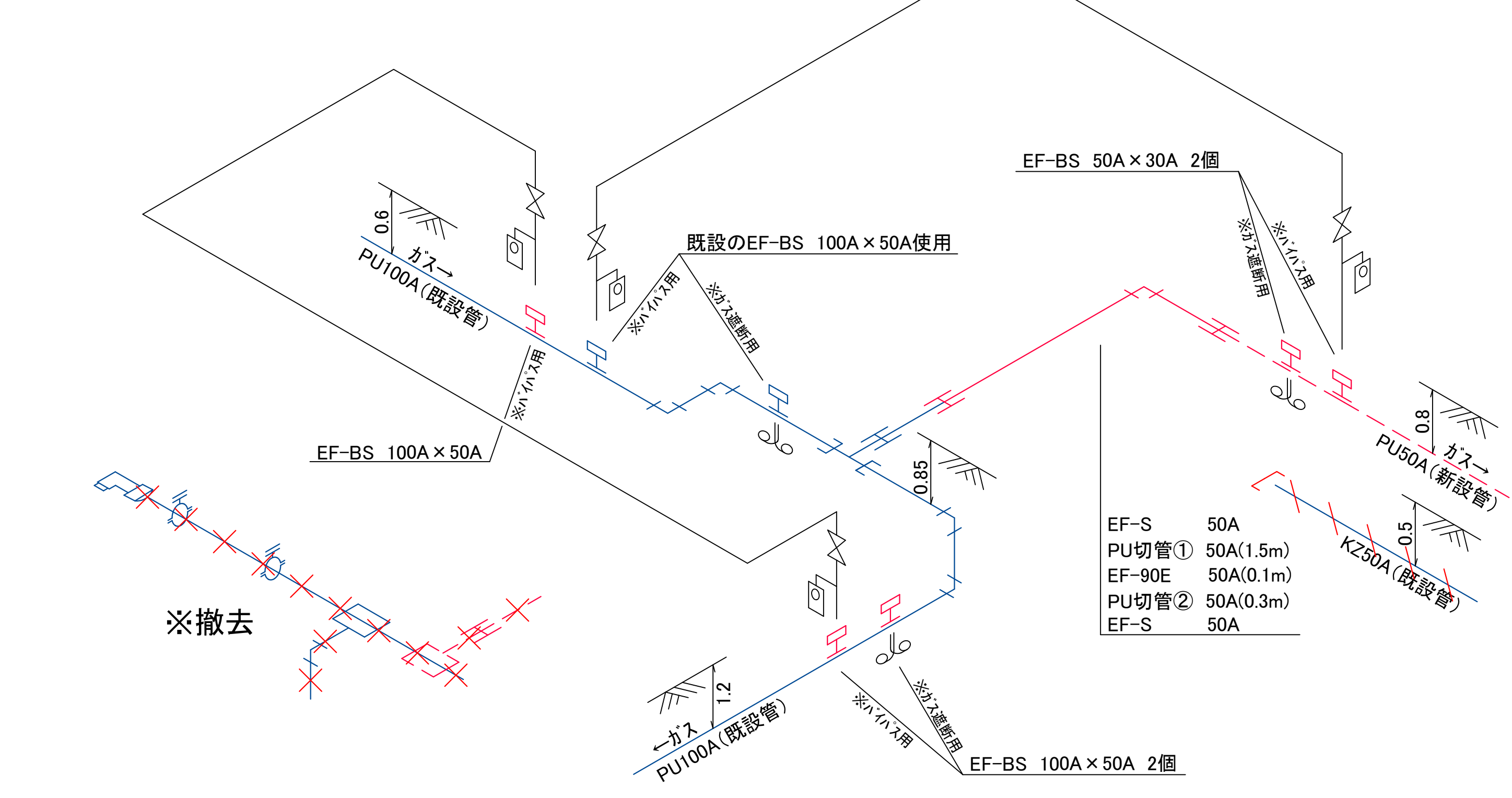


※ガスパージ用立管設置

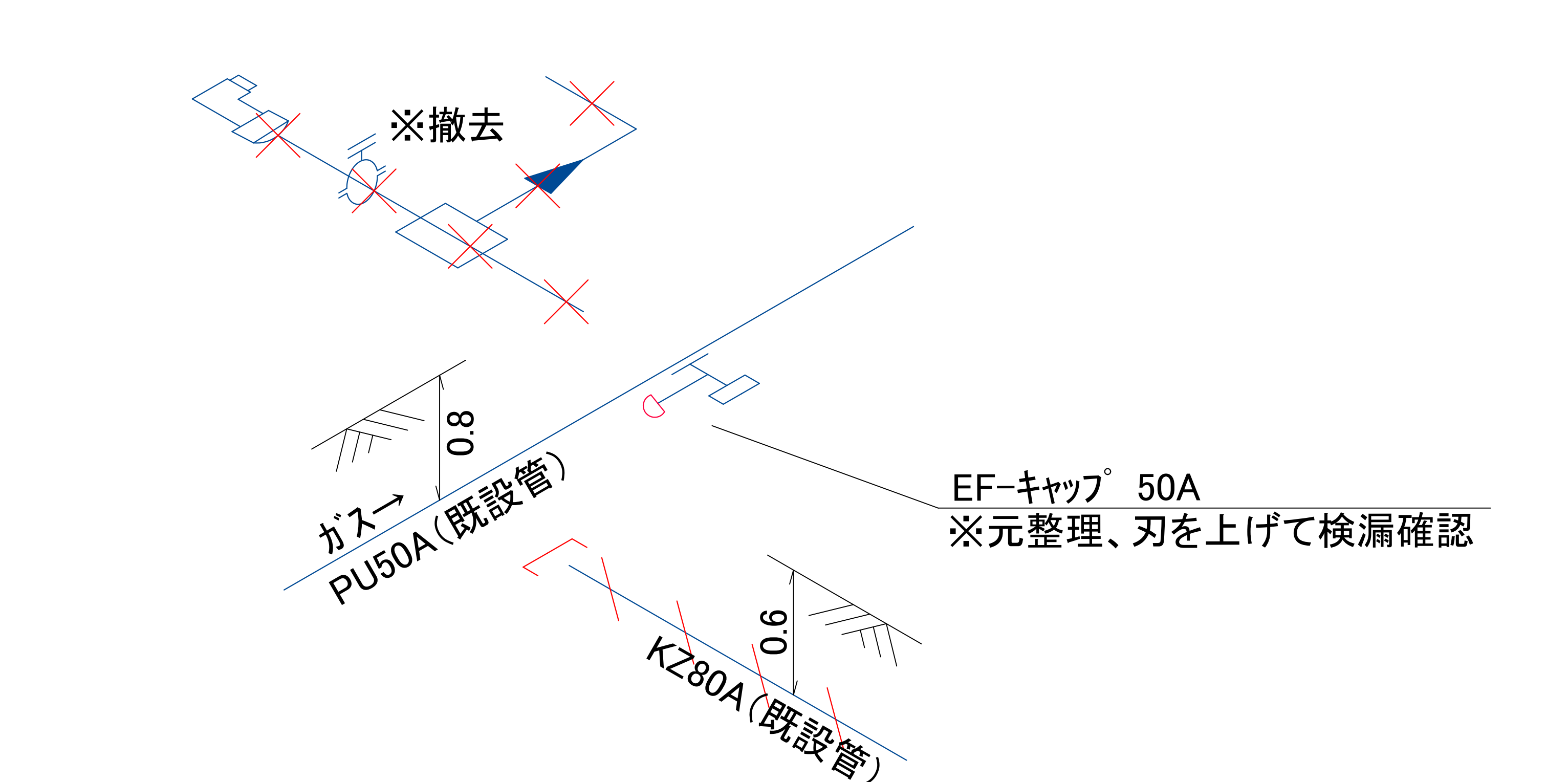
結び①(路線1)



結び②・元整理①(路線1)



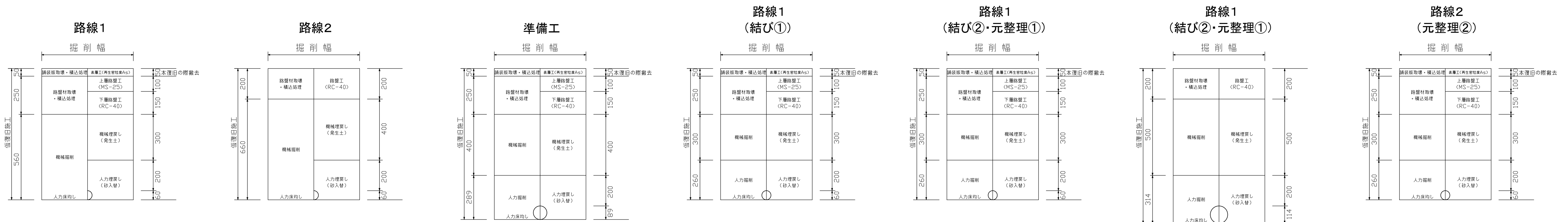
元整理②(路線2)



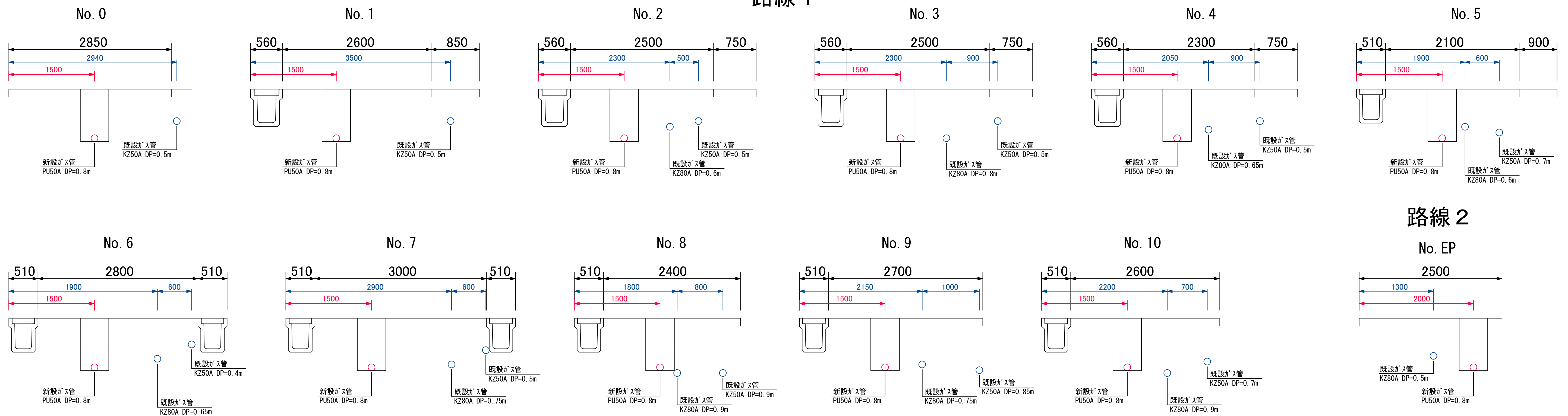
※結び②のバイパスを開通させた後、既設管(KZ50A)の水取器でガスが不通となったことを確認する。

2605			
工 事 件 名	経年ガス導管入替工事(山辺1区)		
工 事 場 所	大網白里市金谷郷(上之和田)地内		
図 面 番 号	全 4 葉 のうち 第 3 号		
図 面 種 別	連絡工図		
縮 尺	図 示		
事 業 主	大網白里市ガス事業課		
設 計 者		年月日	

掘削断面図 S=free



標準断面図 S=free



2605

工 事 件 名	経年ガス導管入替工事(山辺1区)		
工 事 場 所	大網白里市金谷郷(上之和田)地内		
図 面 番 号	全 4 葉 の ち の 第 4 号		
図 面 種 別	掘削断面図・標準断面図		
縮 尺	図 示		
事 業 主	大網白里市ガス事業課		
設 計 者	年月日		

参考資料

令和 8 年度

経年ガス導管入替工事（山辺 1 区）

工 事 設 計 書

大網白里市金谷郷（上之和田）地内

ガス事業課

第 1 号 内訳書 材料費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
PLS鋼管	SGP 20A (4. 0m)	m	2			JFE、住金、新日鉄
ポリエチレン管	GP50A (5. 5m) 50A	m	221. 3			前田（三井）、三菱、積水、桑名（日立）
ソケット	白 20A	個	4			桑名（日立）金属
レジューサー	白 32A×20A	個	2			桑名（日立）金属
プラグ	白 20A	個	4			桑名（日立）金属
PCレジューサー	PC-RS 25A×20A	個	2			桑名（日立）金属
PCニップル	PC-Ni 25A	個	2			桑名（日立）金属
PCニップル	PC-Ni 32A	個	2			桑名（日立）金属
EFソケット	EFS50 50A	個	14			前田（三井）、三菱、積水、桑名（日立）
EFチース	EFT50 50A	個	1			前田（三井）、三菱、積水、桑名（日立）
EF90° エルボ	EFE50 50A	個	10			前田（三井）、三菱、積水、桑名（日立）

第 1 号 内訳書 材料費

1 式

2 頁

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
EFキャップ	EFC50 50A	個	1			前田（三井）、三菱、積水、桑名（日立）
EFハ イパ ストドル	EFBD5030 50A×30A	個	2			前田（三井）、三菱、積水、桑名（日立）
EFハ イパ ストドル	EFBD10050 100A×50A	個	3			前田（三井）、三菱、積水、桑名（日立）
ハ ーシ 付キャップ	PCA-TL-Y 50A×25A	個	2			桑名（日立） 金属
トランジション付同径活管分岐継手	TR-SSB JFE 50A	個	1			JFE
水取器PE	MZA50 (300cc) 50A	基	2			前田（三井）（300CC）
水取ホックス	新丸 Wマーク入り 中	個	6			大熊商会
水取ホックス台座	沈下防止 新中丸用	個	6			三菱樹脂
計						

第 2 号 内訳書 配管費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼管敷設工（柵込み）	20A 切断・柵切り含む	m	2			第 1 号単価表参照
ポリエチレン管敷設工	50A	m	223.2			第 2 号単価表参照
鋼管撤去工（人力）	50A以下	m	3.5			第 3 号単価表参照
ポリエチレン管融着工	50A 継手口数2口	箇所	58			第 4 号単価表参照
ポリエチレン管融着工	100A 継手口数2口	箇所	3			第 5 号単価表参照
小口径鋼管切断工	50A	口	1			第 6 号単価表参照
小口径鋼管切断工	80A	口	1			第 7 号単価表参照
ポリエチレン管切断工	50A以下	口	17			第 8 号単価表参照
クランプ取付工	50A	箇所	1			第 9 号単価表参照
水取立管設置工（PE）	25×20A 材工共	本	2			第 10 号単価表参照
目印ボックス設置工	中丸	箇所	6			第 11 号単価表参照

第 2 号 内訳書 配管費

1 式

2 頁

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
明示テープ工	50A以下 材工共	m	224.2			第 12 号単価表参照
標識シート敷設工	ダブル150W 材工共	m	230.5			第 13 号単価表参照
ロケータワイヤ巻付工	7ｼﾚｺﾑAFRT-174 材工共	m	224.2			第 14 号単価表参照
気密試験工	20Kpa 4h 以上	m	221.3			第 15 号単価表参照
気密試験工	通ガス圧	箇所	16			第 16 号単価表参照
バypass工		箇所	2			第 17 号単価表参照
パージ工	窒素	式	2			第 18 号単価表参照
パージ工	エアパージ バypass 有	箇所	2			第 19 号単価表参照
パージ工	エアパージ バypass 無	箇所	2			第 20 号単価表参照
計						

第 3 号内訳書 土工費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断工	t=15cm以下	m	451.5			第 21 号単価表参照
舗装版取壊・積込	t=10cm以下 山積0.13m3(平積0.10m3)	m2	117.2			第 22 号単価表参照
路盤材取壊・積込	山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	31.9			第 23 号単価表参照
掘削工	山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	71.2			第 24 号単価表参照
掘削工	人力	m3	3.5			第 25 号単価表参照
埋戻工	発生土 機械：山積0.13m3(平積0.10m3)	m3	42.3			第 26 号単価表参照
埋戻工	砂入替 人力	m3	32.5			第 27 号単価表参照
上層路盤工 (W=1.8m未満)	t=10cm MS-25	m2	117.2			第 28 号単価表参照
路盤工 (W=1.8m未満)	t=20cm (砂利道) RC-40	m2	12.3			第 29 号単価表参照
下層路盤工 (W=1.8m未満)	t=15cm RC-40	m2	117.2			第 30 号単価表参照
仮復旧工(人力)	車道 t=5cm 再生密粒度As13mm	m2	117.2			第 31 号単価表参照

第 3 号 内訳書 土工費

1式

2 頁

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
発生土運搬費	D I D 区間無し 運搬距離1km 良好 ダンプトラック2 t 積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	32.5			第 32 号単価表参照
発生土運搬費	D I D 区間無し 運搬距離27.8km 良好 ダンプトラック10 t 積 バックホウ山積0.8m ³	m ³	32.5			第 33 号単価表参照
掘削		m ³	32.5			第 34 号単価表参照
発生土処分	市原市	m ³	32.5			
As塊運搬費	D I D 区間無し 運搬距離8.9km 良好 ダンプトラック2 t 積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	5.8			第 35 号単価表参照
路盤廃材運搬費	D I D 区間無し 運搬距離8.9km 良好 ダンプトラック2 t 積 バックホウ山積0.13m ³	m ³	31.9			第 36 号単価表参照
As塊処分		m ³	5.8			第 37 号単価表参照
路盤材処分		m ³	31.9			第 38 号単価表参照
計						

第 4 号 内訳書 本復旧費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断工	t=15cm以下	m	19.6			第 21 号単価表参照
舗装版取壊・積込	t=10cm以下 山積0.13m3(平積0.10m3)	m2	590			第 22 号単価表参照
不陸整正工	MS-25	m2	590			第 39 号単価表参照
表層工(機械)	t=5cm 再生密粒度As13mm フライムコート	m2	590			第 40 号単価表参照
As塊運搬費	D I D区間無し 運搬距離8.9km 良好 ダンプトラック2 t 積 バックホウ山積0.13m3	m3	29.5			第 41 号単価表参照
As塊処分		m3	29.5			第 37 号単価表参照
計						

第 5 号 内訳書 仮設費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
水替工	作業時排水 潜水ポンプ 口径50A	日				第 42 号単価表参照
ポンプ 据付・撤去工	潜水ポンプ	現場	6			第 43 号単価表参照
計						

第 6 号 内訳書 安全費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B		人				
計						

第 7 号 内訳書 供給管工事費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
供給管	PE 30A	m	40			
ポリエチレン管（内管）	PE 30A	m	6			
PE穿孔取出（土工無し）	50A×32A	箇所	7			
掘削・仮復旧	その他市道	m ²	12			
掘削・仮復旧	砂利道	m ²	17.5			
水取ボックス	新丸Wマーク 中	箇所	1			
水取器（PE）	マンネン 30A	組	1			
PE切断取出	ポリエチレン管 30A×30A	箇所	4			
切断取出	被覆管 25A	箇所	3			
内管プラグ止	PCM 25A	箇所	3			
内管プラグ止	PE 30A	箇所	4			

第 7 号 内訳書 供給管工事費

1 式

2 頁

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
カッター切断	10cm以下	m	3			
舗装こわし		m2	2.3			
本復旧		m2	2.3			
表示杭		本	7			
交通誘導警備員 B		人				
計						

第 1 号 単価表

鋼管敷設工（ｼﾞﾙ込み）

20A

切断・ｼﾞﾙ切り含む

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式				
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

DW030

第 2 号 単価表

ポリエチレン管敷設工

50A

10 m 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

第 3 号 単価表

鋼管撤去工（人力）

50A以下

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

第 4 号 単価表

ポリエチレン管融着工

50A

継手口数2口

1 箇所 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式				
計	1箇所 当り					

DW053

第 5 号 単価表

ポリエチレン管融着工

100A

継手口数2口

1 箇所 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式				
計	1箇所 当り					

DW053

第 6 号 単価表

小口径鋼管切断工

50A

1 口 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式				
計	1 口 当り					

DW074

第 7 号 単価表

小口径鋼管切断工

80A

1 口 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式				
計	1 口 当り					

DW074

第 8 号 単価表

ポリエチレン管切断工

50A以下

1 口 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式				
計	1 口 当り					

第 9 号 単価表

クランプ 取付工

50A

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1箇所 当り					

第 10 号 単価表

水取立管設置工 (PE)

25×20A
材工共

10 本 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
軽作業員		人				
配管工		人				
ソケット	白 20A	個	10			
フ ラグ	白 20A	個	10			
PCニップル	PC-Ni 20A	個	10			
EFソケット	EFS25 25A	個	10			
トランジション径違いソケット	PETRS-Y 25A×3/4	個	10			
明示テープ	0. 2mm*50mm*20m	巻	0. 5			
ロケータワイヤ	FRT-174	m	10			
ポリエチレン管融着工	25A 継手口数2口	箇所	10			第 44 号単価表参照

第 10 号 単価表

水取立管設置工 (PE)

25×20A
材工共

10 本 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
諸雑費		式	1			
計	10 本 当り					
	1 本 当り					

第 11 号 単価表

目印ボックス設置工

中丸

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1箇所 当り					

第 12 号 単価表

明示テープ 工

50A以下
材工共

100 m 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
軽作業員		人				
明示テープ	0.2mm*50mm*20m	巻	2			
諸雑費		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

DW055*

第 13 号 単価表

標識シート敷設工

ダブル150W
材工共

100 m 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
標識シート	ダブル150W 50m	巻	2			
諸雑費		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

DW02F*

第 14 号 単価表

ロケータワイヤ巻付工

フジテコムFRT-174
材工共

100 m 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
ロケータワイヤ	FRT-174	m	110			
諸雑費		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 15 号 単価表

気密試験工

20Kpa 4h 以上

500 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンプレッサ運転		h				
配管工		人				
土木一般世話役		人				
諸雑費		式	1			
計	500 m 当り					
	1 m 当り					

第 16 号 単価表

気密試験工

通ガス圧

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
諸雑費		式	1			
計	1 箇所 当り					

第 17 号 単価表

バイパス工

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
土木一般世話役		人				
諸雑費		式	1			
計	1箇所 当り					

第 18 号 単価表

パンプ工

窒素

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
土木一般世話役		人				
加圧窒素		m3	7			
諸雑費		式	1			
計	1式 当り					

第 19 号 単価表

パージ工

エアパージ
バイパス有

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
土木一般世話役		人				
諸雑費		式	1			
計	1箇所 当り					

第 20 号 単価表

パージ工

エアパージ
バイパス無

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				
土木一般世話役		人				
軽作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1箇所 当り					

第 21 号 単価表

舗装版切断工

t=15cm以下

1 m 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)]	湿式 切削深20cm級 フレート径 φ 56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径 1 8 インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 22 号 単価表

舗装版取壊・積込

t=10cm以下

山積0.13m3(平積0.10m3)

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
小型バックホウ(ｸﾚｰﾝ型)運転	標準型 山積0.13m3(平積0.10m3) 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 45 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	100m2 当り					
	1m2 当り					

第 23 号 単価表

路盤材取壊・積込

山積0.13m3(平積0.10m3)

100 m3 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
小型バックホ(クローラ型)運転	標準型 山積0.13/平積0.10m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 46 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	100m3 当り					
	1m3 当り					

第 24 号 単価表

掘削工

山積0.13m3(平積0.10m3)

100 m3 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
小型バックホ(クローラ型)運転	標準型 山積0.13/平積0.10m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 46 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	100m3 当り					
	1m3 当り					

第 25 号 単価表

掘削工

人力

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
計	1m3 当り					

単独

第 26 号 単価表

埋戻工

発生土

機械：山積0.13m3(平積0.10m3)

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				埋戻し
普通作業員		人				埋戻し
普通作業員		人				締固め
小型バックホウ(ｸﾛｰﾗ型)運転	標準型 山積0.13m3(平積0.10m3) 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				第 47 号単価表参照
タンパ運転	質量60～80kg	日				第 48 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	100m3 当り					
	1m3 当り					

第 27 号 単価表

埋戻工

砂入替
人力

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
山砂		m3	11.1			
計	10m3 当り					
	1m3 当り					

単独（改）

第 28 号 単価表

上層路盤工 (W=1.8m未満)

t=10cm
MS-25

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
高炉スラグ	粒調 2 5 - 0	m3	12.7			100*0.1*(1+0.27)
タンパ運転	質量60～80kg	日				第 49 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	100m2 当り					
	1m2 当り					

第 29 号 単価表

路盤工 (W=1.8m未満)

t=20cm (砂利道)
RC-40

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	25.4			100*0.2*(1+0.27)
タンパ運転	質量60～80kg	日				第 49 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	100m2 当り					
	1m2 当り					

第 30 号 単価表

下層路盤工 (W=1.8m未満)

t=15cm
RC-40

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	19.05			100*0.15*(1+0.27)
タンパ運転	質量60～80kg	日				第 49 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	100m2 当り					
	1m2 当り					

第 31 号 単価表

仮復旧工(人力)

車道 t=5cm

再生密粒度As13mm

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (1 3)	t	12. 573			100*50/1000*2. 35*(1+0. 07)
振動ロー(舗装用)運転	ハッドガイト式 運転質量0. 5～0. 6t	日				第 50 号単価表参照
振動コンパクタ運転	前進型 機械質量40～60kg	日				第 51 号単価表参照
諸雑費		式				
計	100m2 当り					
	1m2 当り					

第 32 号 単価表

発生土運搬費

D I D 区間無し 運搬距離1km 良好
ダンプトラック2 t 積 バックホウ山積0.13m3

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	オンロード・デイスゼル 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 52 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	10m3 当り					
	1m3 当り					

第 33 号 単価表

発生土運搬費

D I D 区間無し 運搬距離27.8km 良好
ダンプトラック10 t 積 バックホウ山積0.8m3

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 10t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 53 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	100m3 当り					
	1m3 当り					

第 34 号 単価表

掘削

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型]	排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.8m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1m3 当り					

第 35 号 単価表

As塊運搬費

D I D区間無し 運搬距離8.9km 良好
ダンプトラック2 t 積 バックホウ山積0.13m3

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 52 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	10m3 当り					
	1m3 当り					

第 36 号 単価表

路盤廃材運搬費

D I D 区間無し 運搬距離8.9km 良好
ダンプトラック2 t 積 バックホウ山積0.13m3

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	オンロード・デイスル 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 52 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	10m3 当り					
	1m3 当り					

第 37 号 単価表

As塊処分

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
A S 塊処分費	処分地区：山武	m3	1			
計	1m3 当り					

第 38 号 単価表

路盤材処分

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤材処分費	処分地区：山武	m3	1			
計	1m3 当り					

第 39 号 単価表

不陸整正工

MS-25

100 m2 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
タンパ運転	質量60～80kg	日				第 49 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	100m2 当り					
	1m2 当り					

第 40 号 単価表

表層工(機械)

t=5cm

再生密粒度As13mm プライムコート

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅 1.4～3.0m	%	K1			
振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式]	運転質量 3～4 t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量 3～4 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 40 号 単価表

表層工(機械)

t=5cm
再生密粒度As13mm プライムコート

1 m2 当り 2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (1 3)	%	Z1			
アスファルト乳剤	P K - 3 プライムコート用	%	Z2			
軽油		%	Z3			
	1m2 当り					

第 41 号 単価表

As塊運搬費

D I D区間無し 運搬距離8.9km 良好
ダンプトラック2 t 積 バックホウ山積0.13m3

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 2t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 52 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	10m3 当り					
	1m3 当り					

第 42 号 単価表

水替工

作業時排水

潜水ポンプ 口径50A

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
工事用水中モータポンプ [普通型]	潜水ポンプ 口径φ50mm 全揚程5m	日				
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動]	3kVA	日				
諸雑費		式				
計	1 日 当り					

第 43 号 単価表

ポンプ据付・撤去工

潜水ポンプ

1 現場 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
計	1現場 当り					

第 44 号 単価表

ポリエチレン管融着工

25A

継手口数2口

1 箇所 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式				
計	1箇所 当り					

DW053*

第 45 号 単価表

小型バックホウ(クローラ型)運転

標準型 山積0.13m³(平積0.10m³)
排出ガス対策型(第1次基準値)

1 h 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	4.4			
小型バックホウ(クローラ型)	標準型 山積0.13/平積0.10m ³ 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				
諸雑費		式	1			
計	1 h 当り					

第 46 号 単価表

小型バックホウ(クローラ型)運転

標準型 山積0.13/平積0.10m3
排出ガス対策型(第1次基準値)

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	23			
小型バックホウ(クローラ型)	標準型 山積0.13/平積0.10m3 排出ガス対策型(第1次基準値)	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 47 号 単価表

小型バックホウ(クローラ型)運転

標準型 山積0.13m³(平積0.10m³)
排出ガス対策型(第1次基準値)

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	29			
小型バックホウ(クローラ型)	標準型 山積0.13/平積0.10m ³ 排出ガス対策型(第1次基準値)	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 48 号 単価表

タンパ運転

質量60～80kg

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
ガソリン	レギュラー	L	4.5			
タンパ 及びランマ賃料	ランマ 質量60～80kg	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 49 号 単価表

タンパ運転

質量60～80kg

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
ガソリン	レギュラー	L	4			
タンパ 及びランマ賃料	ランマ 質量60～80kg	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 50 号 単価表

振動ローラ(舗装用)運転

ハンドガイト式 運転質量0.5～0.6t

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
軽油		L	3			
振動ローラ(舗装用)	ハンドガイト式 運転質量0.5～0.6t	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 51 号 単価表

振動コンパクタ運転

前進型 機械質量40～60kg

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
ガソリン	レギュラー	L	5			
振動コンパクタ	前進型 機械質量40～60kg	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 52 号 単価表

ダンプトラック運転

オンロード・ディーゼル 2t積級
タイヤ損耗(良好)

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	21			
ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 2t積級	供用日				
タイヤ損耗費	2～3t 良好	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

第 53 号 単価表

ダンプトラック運転

オンロード・ディーゼル 10t積級
タイヤ損耗(良好)

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	58			
ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	供用日				
タイヤ損耗費	10t 良好	供用日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

数量計算書（参考資料）

- ・ 材料数量集計表及び計算書
- ・ 配管数量集計表及び計算書
- ・ 土工数量集計表及び計算書
- ・ 本復旧数量集計表及び計算書
- ・ 仮設数量集計表及び計算書
- ・ 安全費数量集計表及び計算書
- ・ 供給管数量集計表及び計算書

材料数量集計書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

(1/1)

[illegible]

材料数量計算書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

$$\underline{(1/1)}$$
[illegible]

配管数量集計書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

[illegible]

配管数量計算書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

 $(1/1)$ [illegible]

土工数量集計書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

[illegible]

土工数量計算書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

(1/1)

本復旧数量集計書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

$$\overline{(1/1)}$$
[illegible]

本復旧数量計算書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

$$(1/1)$$
[illegible]

仮設数量集計書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名：経年ガス導管入替工事（山辺1区）

[illegible]

仮設数量計算書（参考資料）

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

$$\overline{(1/1)}$$
[illegible]

安全費数量集計書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

[illegible]

工事名： 経年ガス導管入替工事（山辺1区）

$$(1/1)$$
[illegible]

供給管数量集計書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名：経年ガス導管入替工事（山辺1区）

[illegible]

供 給 管 数 量 計 算 書 (参考資料)

工事番号：2605

工事名：経年ガス導管入替工事（山辺1区）

[illegible]